

巨摩高だより

message from KOMA

vol.17
2007/12/7

「極(きわみ)」のテーマのもとに 第53回白嶺祭

第53回白嶺祭が6月27、28日桃源文化ホールと本校で開催されました。本年度のテーマは極(きわみ)。クラスパフォーマンス、クラス企画、フリータイム等が華やかに行われました。圧巻だったのは牛乳パック五千枚で作られた全校製作の壁画。朝日を背景に聳え立つ富士山は、生徒や来訪者の目を引きました。



(生徒作品)

思い出
美しい思い出
友と汗水流し
一つのことをやりとげた六月
青春の言葉が心にしみる
いい思い出にしたいと願ってた
けど思い出にならなかったら
なぜか少し寂しいよ
またあの六月に戻りたい
美しい思い出に



白嶺祭実行委員長 笹本 昂佑

来年は、準備期間をもっとはやくから設け、自分たちがやりたい事を提案していいと思うし、三年生を中心にその学年にしかできないコトをやっているって欲しいです。高校生活しかできないコトってあると思います。これからもっと大きいコトをして、伝統を引き継いでいってほしいと思います。

年に一度の白嶺祭。学校が一丸となって動く。私たちにとってはとても大きな行事です。今年も、『はしか』の流行で、学校閉鎖になったり、準備期間が例年と比べて少なかったのですが、みんなの力で大成功に終わったと思います。全校製作では、みんなが集めてきた牛乳パックで、大きな絵を表現し、クラス旗やクラスパフォーマンスでは、そのクラスならではの驚きや、楽しさがありました。みなさんはどんな思い出が残っていますか？それがいい事だったら良いです。とにかく笑った二日間でした。

進路速報

推薦入試による合格者

山梨大学教育人間科学部 2名
山梨大学工学部 7名
都留文科大学 5名
山梨県立大学 5名

H19年度合否状況 12/7現在

	大学				短大	専門学校	就職	公務員
	AO 自己推薦	指定校 スポーツ	公募	合計				
受験者	17	46	45	108	14	37	8	14
合格者	9	46	36	91	13	37	6	7
合格率	52.9	100	80	84.3	92.9	100	75	50

県内国公立大学推薦入試過年度比較

	山梨大		都留文科大学	山梨県立大	
	教育	工		国際・人間	看護
19年度	2	7	5	4	1
18年度	2	1	1	2	0
17年度	0	3	1	1	1

推薦入試に合格して

内田裕人

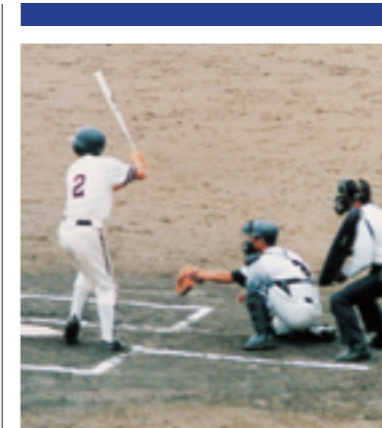
私が推薦入試に合格することができたのは、部活動と学業の両立を目指し、取り組んできたからだと思います。私は弓道部に所属していましたが、弓道を通して身につけた、礼儀、継続する力、集中力などが推薦入試を受ける上でも役に立ったと思います。

推薦入試は単に学力ではなく、将来への関心や興味、人間性など様々なことが要求されると感じました。したがって、三年間を通しての学校生活への取り組みがとても大切になってくると思います。私が学業と部活動を両立しようとして取り組んだことは、学校生活を送るなかで大きな支えになりました。そして、何よりも私が合格することができたのは、支えてくださった先生方のおかげだと感じています。小論文指導や面接指導を何度もしてくださった先生方に対しても感謝しています。私が合格できたのは、多くの人々の支えのおかげで、一生懸命取り組むことができたからだと思っています。(山梨大学・工学部合格)

◆編集後記

木枯らしが枯れ葉を巻き上げる季節となりました。「巨摩高だより」第17号をお届けします。今回は生徒の詩や、校長先生のエッセイと、趣を変えたレイアウトしてみました。前号が、総体の記録、大学合格者数と記事が多かったため、ゆったりと見られる紙面を心がけたのですが、ちょっとボリュームに欠けてしまいました。痛しかゆですり厳しい寒さがやってきますが、その向こうには再び、暖かい季節が待っています。その頃には18号を。

巨摩高だより 第17号
発行 山梨県立巨摩高等学校
山梨県南アルプス市小笠原 1500-2
TEL 055-282-1163
FAX 055-282-1104
http://www.ko.kai.ed.jp
発行日 2007年12月7日
編集 巨摩高等学校 図書教養係



今回の「がんばる先生」は、一年六組の担任であり野球部の監督でもある藤巻信一先生です。先生は巨摩高校OBです。

どんな高校時代だったのですか？
理系だったのでクラスに男が多かったです。野球部だったので、にぎやかな高校時代でした。野球では二年の時、サードで六番、その年の夏は県でベスト

ト4に入りました。三年の時はキャッチャーで四番、三回戦で敗れましたが、最後の試合でホームランを打ったことを覚えてます。当時は坊主頭が流行らず、どこの学校も部員が少なかったですね。成績を落とさないことを条件に野球をやっていたので、勉強も一生懸命やりましたよ。

大学に入っても野球を続けていたそうですね。
私の出身の横浜国立大学は、神奈川県に所属していて、一年生の時は二部だったのですが、秋のリーグで昇格して、二年以降は一部で、横浜スタジアムなどでプレーしていました。同じリーグにはプロに行く選手もいて、ハイレベルな野球でした。一番の思い出はリーグ打率二位になり、キャッチャーとしてベストナインに選ばれた

ことです。勉強も野球もアルバイトも、とにかく楽しい大学生活でした。母校に赴任してどうですか。
制服が学生の頃と同じですし、グランドもあまり変わってなくて懐かしかったですね。お世話になった母校に恩返ししたい気持ちです。

今の巨摩高生に望むことは？
全県一区になったとはいえ、やはり地元根ざしている高校だと思えます。地域の期待に応える生徒になってほしいですね。それと、あいさつがもっと元気になってほしいかな。

どうもありがとうございました。

がんばる先生

第5回

藤巻信一先生
一年六組担任
野球部監督

